

第4回雇用政策研究会論点（案）

（長期雇用慣行と新卒一括採用システム）

- 不確実性が増している中、長期雇用慣行や新卒一括採用システムについてどのように考えるか。

（非正規労働者の現状と対応）

- 世帯主で年収 200 万円未満の労働者が少なからず存在している現状に対して、どう考えるか。また、上記への対応を含め、非正規労働者の保護についてどう考えるか。

（複線型雇用管理の整備）

- 非正規労働者から正社員への移動を可能とする複線型雇用管理の整備（企業内の内部登用や転職の推進）にあたっては、どのような方法が考えられるか。

（中間的な雇用形態）

- 常用非正規労働者が増加している現状を踏まえ、正規労働者と非正規労働者の中間的な雇用形態を位置づけることについてどう考えるか。

（賃金）

- ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の実現に向け、賃金面ではどのような水準をイメージすべきか。また、これまで企業が担ってきた生活給要素をもつ賃金体系をどう考えるか。
- 正規・非正規の賃金のあり方についてどう考えるか。
- 現に働いている労働者に対する生活保障としての最低賃金の引き上げについて、どう考えるか。

（雇用調整手段）

- 景気変動に対する雇用調整手段として人員、賃金、時間の調整があるが、それぞれの手段についてどう考えるか。

※各種就労促進等その他の論点については、次回以降で取り上げる予定